

# ベビーカーには 寿命があります！

寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、  
思わぬ事故が発生する場合があります。

寿命は、使用状況や保管状態により異なりますが、新規ご購入時から使用対象月齢期間までが目安です。  
使用対象月齢期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、  
本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

特に、2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は寿命を超える場合がありますのでご注意ください。  
また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

安全で安心にお使いいただくため、  
寿命内でも日頃からのご注意と点検をお願いします。

安全のため、日常の自主点検をお忘れなく

## ✓ check 1

締結部品にゆるみが生じていないか

## ✓ check 2

開閉ロックの動きが悪くなっていないか

## ✓ check 3

本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか



ご使用上の注意

- ・ご使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。
- ・仕様対象年齢期間でも、長距離走行や走行路面、保管状態によっては、寿命が短くなります。
- ・直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
- ・部品の亀裂や全体のガタツキが大きくなった等の異常を感じられた場合は、下記までご連絡ください。

販売元  
株式会社

西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル

0120-7-24028

※PHS OK

受付時間10:00~18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

# ベビーカーを正しく使っておでかけしましょう！

この度は、西松屋チェーンの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ベビーカーは赤ちゃんと一緒に楽しく快適におでかけするためにとても便利な製品です。

しかし、使い方によっては、「予期せぬお子さまのけがやベビーカーの破損」につながることもあります。

**使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。**

## 1 すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。

肩・腰バックルを股バックルに「カチッ」と音がするまで挿入した後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



## 2 お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

お子さまは月齢が高くなるにつれ周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトを外す恐れがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。



## 3 2人乗りは禁止です。

ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。



## 4 お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードが外れたりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



## 5 お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒する恐れがあります。



## 6 エスカレーターでの使用は禁止です。

階段や大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路でも転倒の恐れがあるため、使用しないでください。



## 7 ベビーカーの開閉の際には、そばにお子さまがいないことを確認してください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかる恐れがあります。



## 8 ベビーカー本体には、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

破損・故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。



# ★ Smart Angel

ベビーカー

## ラ・ウォーク プレミアム

取扱説明書/保証書



使用月齢：1ヶ月以上36ヶ月頃まで(お子さまの体重目安15kg以下)

望ましい連続使用時間：2時間以内(ただし生後7ヶ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)





このたびはお買い上げいただき  
まことにありがとうございます。

- ご使用前には必ず本書をお読みいただき、よくご理解の上、ご使用ください。
- 本書はいつでも参照出来る所へ大切に保管してください。
- 商品の品質向上のため、仕様および外観を予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

### 安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。お読みの上、製品をご使用ください。

表示	表示の内容
 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。

## もくじ

### はじめに

ご使用前に .....	2
各部の名称 .....	2

### ベビーカーの組み立て方

ハンドル角度を起こす .....	3
キャスターロックレバーの解除 .....	3
後輪の向きと自立 .....	3
ベビーカーを開く .....	4
日よけを取り付ける .....	4

### ベビーカーの使い方

開き方と閉じ方の説明 .....	5
キャスターロックレバーの切り替え .....	6
前後輪ストッパーのロック⇄解除の切り替え .....	6
ハンドルの背面式⇄対面式への切り替え .....	6
背面式の車輪の向き .....	7
対面式の車輪の向き .....	8

### 各部の取扱い

シートベルトの取り扱い .....	8
リクライニングの調節 .....	9
フロントガードの着脱 .....	9
フットレストの調節 .....	9
日よけの着脱 .....	10
フットカバーの使い方 .....	11
フットカバーの収納と取り外し方 .....	11
ハンドルの角度調節 .....	11

### その他お手入れ方法

シートカバーの着脱 .....	12
ベルト 2 段階調節 .....	13
日常のお手入れ方法 .....	13
インナーシートの着脱 .....	14
インナーシートの使用期間 .....	14
車輪のお手入れ .....	17
廃棄方法 .....	18
品質保証書 .....	18

**保護者の方へ…ご使用前に必ずお読みください。**

- 開閉操作時は、お子様が絶対にベビーカーに近づけないでください。お子様がベビーカーに触れている状態で開閉操作をおこなうと、可動部に指や手を挟むなど、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- さらに、保護者の方で組立や、立ち上げ、折りたたみをされる場合も、必ずお一人で行なってください。複数の方で行なうと、過って指や手足をはさむ危険性が増します。
- お子様だけでベビーカーの立ち上げや、折りたたみを絶対にさせないでください。さらに、ベビーカーで遊ばせないでください。いずれも、指や手足をはさむおそれがあります。
- お子様をベビーカーに乗せる前に、必ずベビーカーがしっかりと立ち上げられていることを点検・確認してください。
- ハンドルを切り替える時は4ヶ所ともキャスターのロックを解除してください。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、前輪のキャスターロックレバーをロックし、必ずストッパーをかけてください。ロックをかけないと倒れやすくなります。
- お子様をベビーカーに乗せる際は、お子様の滑り落ち事故防止のため、必ずシートベルトを正しく装着してください。
- シートベルトは、必ずお子様の体格に合わせて調整してください。さらに、成長に応じて随時調整を繰り返してください。
- お子様をベビーカーの座席の上に立たせないでください。また、シートベルトをしていても、お子様が立ち上がることがあるので、常にご注意ください。
- ベビーカーの座席にお子様を同時に2人以上乗せたり、大人が腰掛けたりしないでください。また、座席以外のところに乗せたり、座らせたりしないでください。破損や故障の原因にもなります。
- お子様をベビーカーに乗せたまま、長時間ご使用しないでください。〈目安として寝かせた姿勢で2時間以内、座らせた姿勢で1時間以内が望ましいとご理解ください〉
- 鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品を鉄道やバスで使用する時は、カーブやブレイキなど予期せぬ転倒の恐れがありますので、保護者の方は責任を持って必ずストッパーをかけ、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着してください。また、事前に各鉄道やバス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさない時は使用しないでください。ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保障するものではないことをあらかじめご了承ください。
- お子様をベビーカーに乗せたまま、絶対に1人にさせないでください。
- お子様が乗っている場合は、短時間の停車でも、必ず後輪ロックをかけてください。しかし後輪ロックをかけていても、後輪ロックは後輪を絶対に動かなくするものではないことをご理解いただき、坂道や斜面など不安定な場所には、後輪ロックを過信してベビーカーを停車しないでください。
- お子様が乗っていない場合でも、不安定な場所や車道に近い歩道などにベビーカーを放置しないでください。
- お子様をベビーカーに乗せたまま、階段やエスカレーターで持ち上げて使用しないでください。
- ベビーカーのハンドル等に、手荷物などを掛けないでください。バランスが崩れ、転倒などの思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。さらに、ベビーカーの破損や故障の原因にもなります。
- 外出時の荷物は、必ずカゴの中に置くようにしてください。
- カゴの中には、5kg以上の荷物等を置かないでください。
- 雪が積もっていたり、凍結した路面では使用しないでください。ベビーカーのスリップだけでなく、保護者の転倒などで、お子様をまきこむ事故につながるおそれがあります。
- 火の近くや高温になる場所でのベビーカーの放置や保管は避けてください。故障や変形の原因になります。
- ベビーカーを改造して使用しないでください。また、お子様を乗せることを目的とした市販のボード等を追加で取り付けたりしないでください。
- 各部の固定部などに、ゆるみやさしきみ音が生じたり、部品の欠落が見つかったり、車輪がスムーズに回転しなくなったら、そのまま使用しないで弊社にご連絡ください。修理や部品交換等のご相談に応じます。
- ベビーカーを廃棄する際は、各自治体の廃棄区分に従ってください。



お子様を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。



階段やエスカレーターで使用しないでください。



ベビーカーにお子様を同時に2人以上乗せないでください。



シートベルトを外したままベビーカーに乗せないでください。



ベビーカーのハンドル等に手荷物を掛けないでください。



開閉する時に指を挟まないように注意してください。

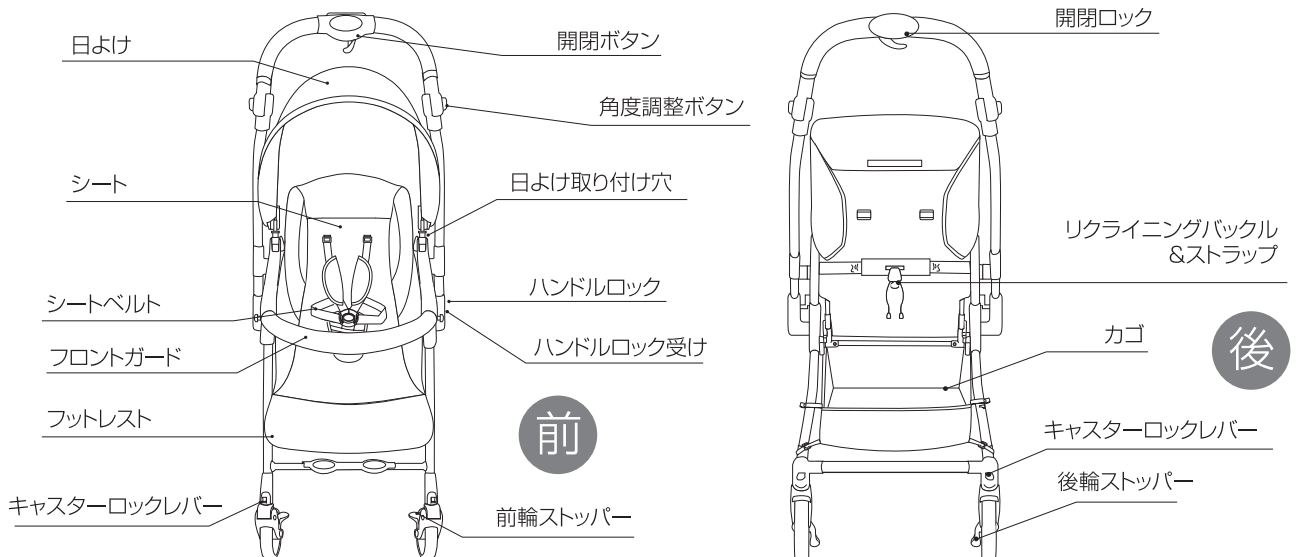


お子様をベビーカーの座席の上に立たせないでください。



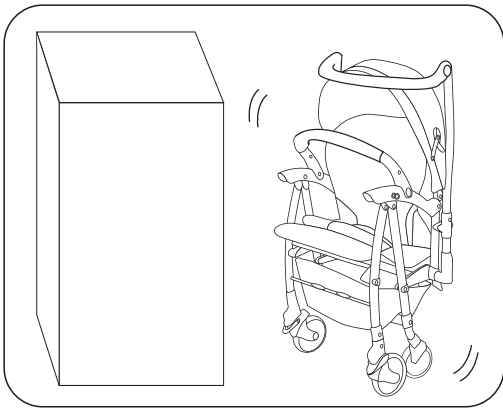
激しく揺れる場所でベビーカーを使用しないでください。

**1 各部の名称**



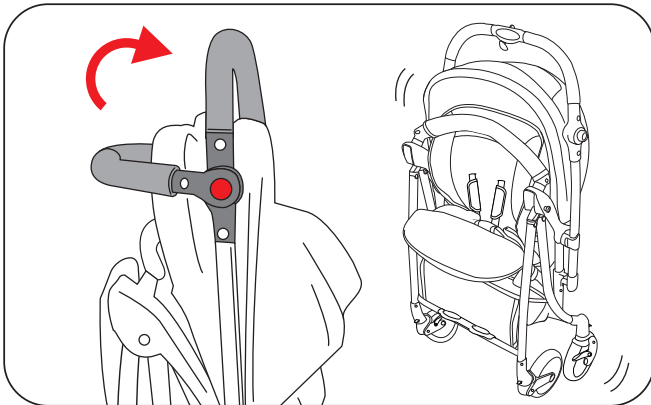


## 2 ベビーカーの組み立て方



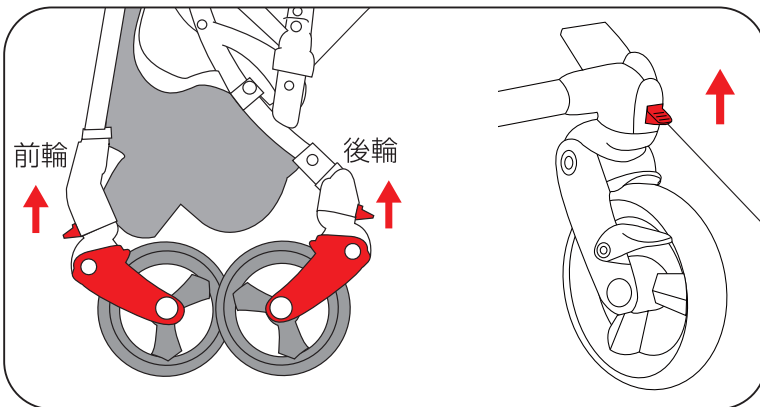
### 1. 商品を箱から出してください。

梱包時には、ベビーカーは折りたたまれた状態です。箱から出した状態のベビーカーは後輪が内向きにロックされているため自立しません。また、日よけも取り付け穴から外れた状態です。下記手順に従ってベビーカーを組み立ててください。



### 2. ハンドルの角度を起こす

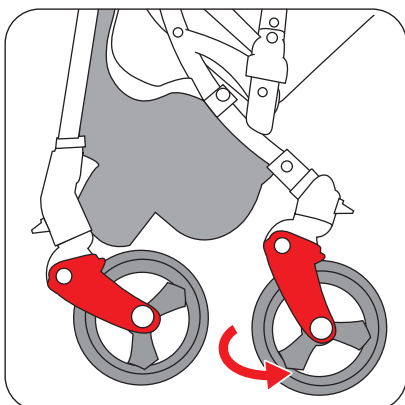
ベビーカーのハンドル部分は折まがった状態で箱に入っています。バンドル側面の両側についている角度調整ボタンをおしてロックを解除しハンドルを真直ぐにしてください。両側の角度調整ボタンを同時におしながら角度を起こしてください。



### 3. キャスターロックレバーの解除

ベビーカーの車輪は内向きにロックされた状態で箱に入っています。前輪・後輪4ヶ所のキャスターロックレバーをすべて解除してください。

キャスターロックレバー



### 4. 後輪を外向きに回転させる

キャスターロックレバーを解除したあとで後輪が外向きになるように回転させます。カチッという音と共に後輪が自動ロックされたことを確認してください。後輪が外向きになるとベビーカーが自立します。

日よけ

自立した状態

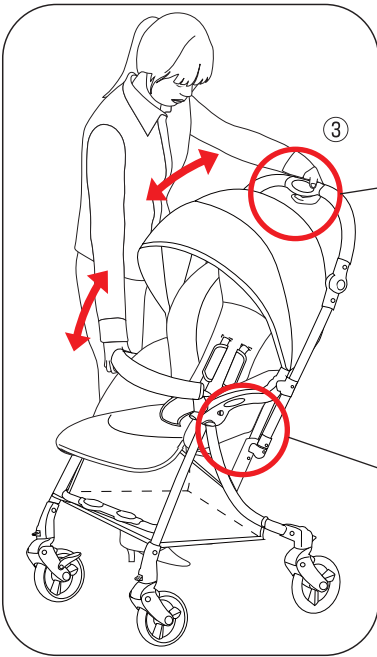
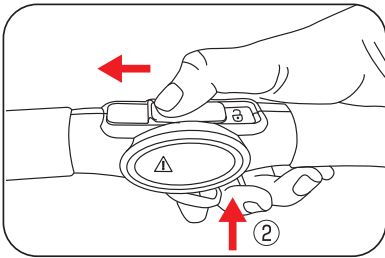


ベビーカーを地面につけた状態で操作を始めてください。

◆ 開閉ロックの切り換え



① 解除 ← ロック



### 5. ベビーカーを開く

最初に、ハンドル中央部の上側にある「開閉ロック」を①のようにスライドして、必ずロックを解除してください。

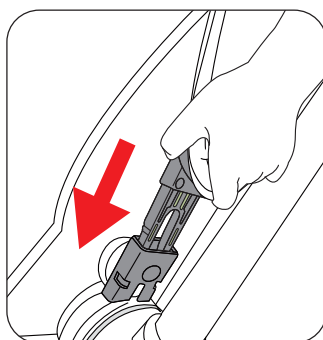
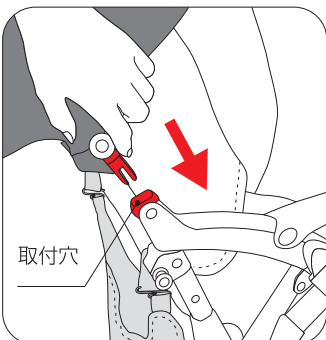
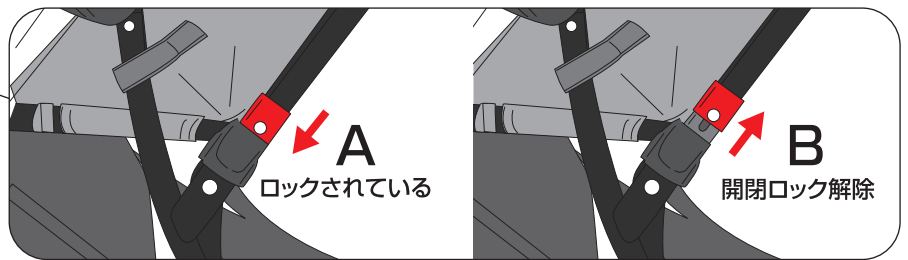
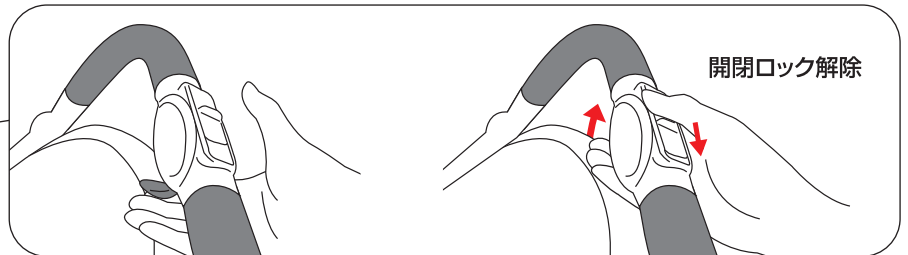
ベビーカーの後方から、ハンドル下側の「開閉ボタン」②を押しながら、ハンドルをしっかり握って持ち上げます。この時点でベビーカーは半開きの状態になります。そのままフロントガードを持ち、③のようにベビーカーを開いてください。

#### ⚠ 注意

- ★お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ★ベビーカーを持ち上げた状態で開閉操作すると、破損のおそれがあります。
- ★開閉ロックを解除せずに開閉ボタンを握らないでください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

#### ⚠ 警告

- ★ベビーカーを開いた後、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれる恐れがあります。
- ★開閉ロックが上がってBのようにすき間がある場合はロックされていないため、開閉ロックがAの位置(ロックされている状態)に戻ったことを確認してください。



### 6. 日よけをベビーカーに取り付ける

左右のアームレスト後端にある「日よけ取り付け穴」に、日よけの先を差し込みます。さらに、日よけの裏側にある面ファスナーを背もたれの裏側に固定します。

#### ⚠ 注意

- ★日よけを上下にゆすって、日よけ取り付け穴に確実に固定されていることを確認してください。

ベビーカーの組み立てが完了しました。

### 3 ベビーカーの開き方と閉じ方

#### ◆ 開閉ロックの切り換え



ロック



ロック解除

解除 ←→ ロック

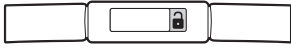


図1

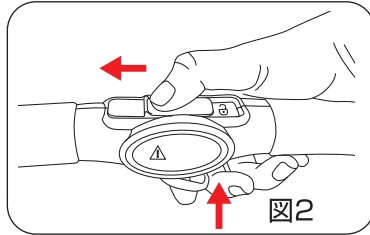


図2

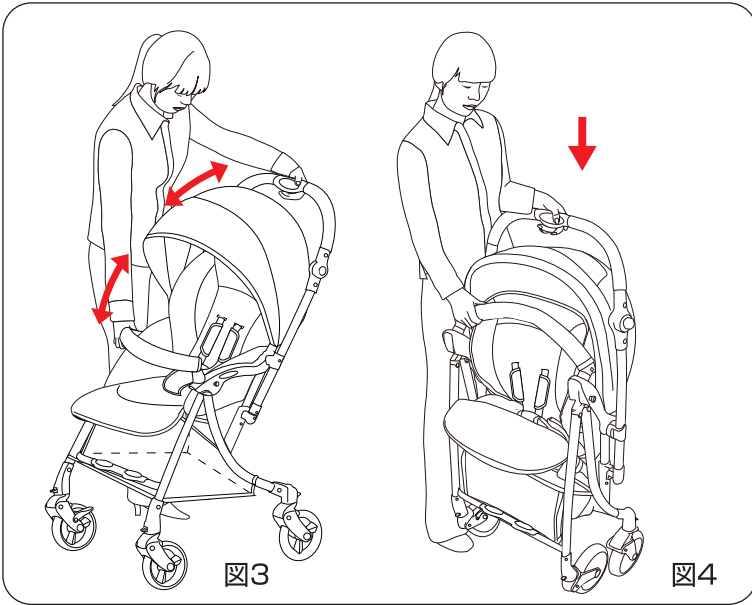


図3

図4

#### ⚠ 警告

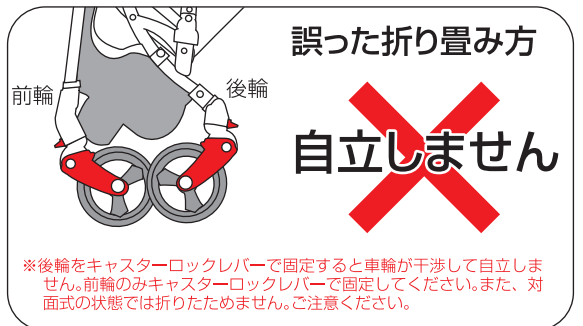
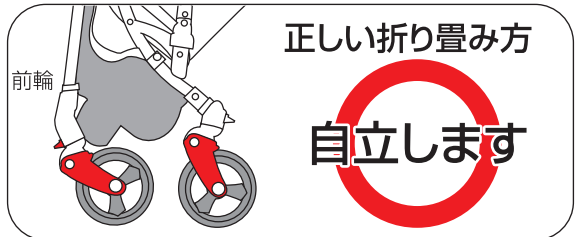
★ベビーカーの開閉時やハンドル切り替え時に、ベビーカーの着脱シートやシートベルト、ブランケット、おもちゃなどをベビーカー本体に挟み込まないよう十分注意してください。開閉ロックがかからず、折りたたまれたり、キャスターが自動ロックされず転倒する恐れがあります。

#### 開き方

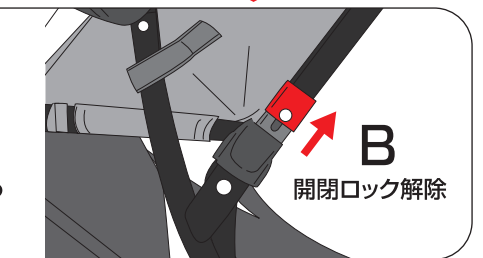
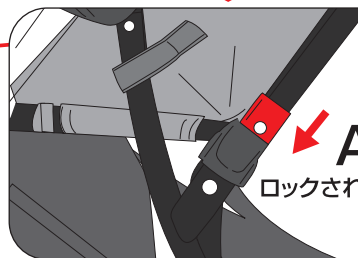
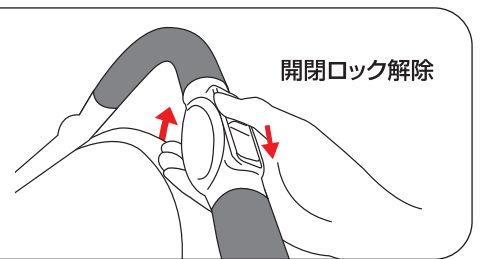
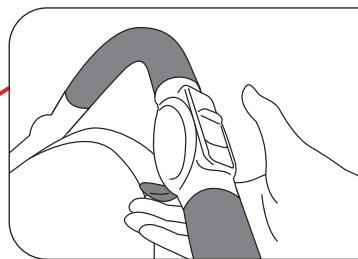
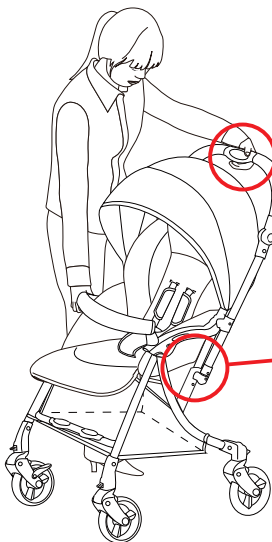
- 最初に、ハンドル中央部の上側にある「開閉ロック」を、図1のようにスライドして、必ずロックを解除してください。(🔓)
- ベビーカーの後方から、ハンドル下側の「開閉ボタン」(図2)を押しながら、ハンドルをしっかり握って持ち上げます。この時点でベビーカーは半開きの状態になります。そのままフロントガードを持ち、図3のようにベビーカーを開いてください。
- 最後に、ハンドル中央部の上部にある「開閉ロック」を、必ずロックしてください。(🔒)

#### 閉じ方

- 対面式の状態で折りたたみません。**必ずハンドル位置を背面式にしてください。
- 前輪を「キャスターロックレバー」で固定します。
- 座面のリクライニングを、背もたれの角度が最も立っている状態に戻します。
- 日よけを折りたたんでください。
- 開き方と同様の手順でハンドル下側の「開閉ボタン」をロック解除し、図4のようにベビーカーを折りたたみます。
- 最後にハンドル中央部の上部にある「開閉ロック」を、必ずロックしてください。



※後輪をキャスターロックレバーで固定すると車輪が干渉して自立しません。前輪のみキャスターロックレバーで固定してください。また、対面式の状態で折りたたみません。ご注意ください。



#### ⚠ 警告

★ベビーカーを開いた後、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれる恐れがあります。  
★ブランケットなどがはさまり、開閉ロックが上がってBのようにすき間がある場合はロックされていないため、開閉ロックがAの位置(ロックされている状態)に戻ったことを確認してください。折りたたんだ時も同様に常にロックされたAの状態であることを確認してください。

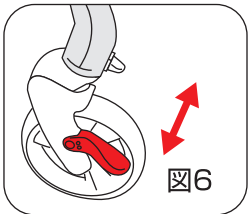


## 4 キャスターロックレバーの「ロック⇔解除」の切り替え



- 通常使用時やハンドルを切り替える時には、必ず4ヶ所のキャスターロックレバーを上げてロックを解除してください。
- 坂道や凹凸のある路面では、一時的に進行方向側のキャスターを左右ともロックすると押しやすくなります。
- 前輪または後輪を首振りにする場合は、図5のように「キャスターロックレバー」を上げてロックを解除します。首振りをロックする場合は、「キャスターロックレバー」を下げてください。

## 5 前・後輪ストッパーの「ロック⇔解除」の切り替え



- ベビーカーを短時間でも駐車する時は、必ず「前輪・後輪ストッパー」で左右後輪についているレバーを図6のように下げてください。下げるとロックがかかり、上げるとロックが解除されます。

### 警告

★ベビーカーの開閉は、必ず近くにお子様がいなかったことを確認しておこなってください。お子様がフレーム可動部に指や手を挟むなど、思わぬ事故につながる恐れがあります。

★ベビーカーの開閉は、必ずお一人でおこなってください。複数人でおこなうと、事故の原因になります。

### 警告

★ストッパーがかかっている場合、駐車場所の状況（坂道の途中や滑りやすい場所等）で動きだすこともあります。ストッパーを過信しないでください。

★特に、お子様や荷物を乗せている時は、ストッパーをかけていても絶対にベビーカーから手を離さないでください。

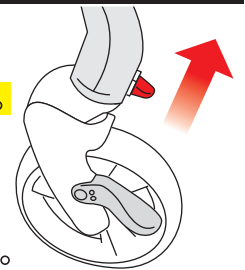
★長時間駐車したり、駐車場所の状況が悪い場合は、ベビーカーを閉じて、他の人に迷惑にならない場所に置くようにしてください。

## 6 ハンドルの背面式⇔対面式への切り換え

### 警告（取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。）

- ★ハンドルを切り替える時はお子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさむ恐れがあります。
- ★ハンドルを切り替えるときは必ず4ヶ所ともキャスターのロックを解除してください。押す人側のキャスターが自動ロックされず、ベビーカーが転倒してお子様は落ちるおそれがあります。
- ★ハンドルの切り替え後、進行方向に少し前進させ、押す人側のキャスターがカチッという音と共に自動ロックされたことを確認してください。ベビーカーが転倒してお子様は落ちるおそれがあります。
- ★ハンドル切り替え中にベビーカーを動かさないでください。4輪ともキャスターがロックされず、思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子様は落ちるおそれがあります。
- ★坂道ではハンドルの切り替えを行わないでください。4輪ともキャスターがロックされず、思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子様は落ちるおそれがあります。
- ★左右の「ハンドルロック」が、左右の「ハンドルロック受け」に「カチッ」と音がして、確実にハマったことを確認してください。

## ハンドルの切り替えかた



1. 4ヶ所のキャスターロックレバーがすべて解除されていることを確認する。
2. 左右のハンドルロックを上へ引き上げ、ロックを解除する。
3. ハンドルの向きを変えた側のハンドルロック受けにしっかりとロックする。
4. 押す人側のキャスターがカチッという音と共に自動ロックされたことを確認してください。

### キャスターについて

- 方向転換がスムーズに行えるよう車輪の向きが変わる機構をキャスターといいます。
- この製品は対面、背面どちらの状態でもハンドルを切り替えることにより自動的に押す人側のキャスターがロックされ、進行方向前方のキャスターが動くようになっています。

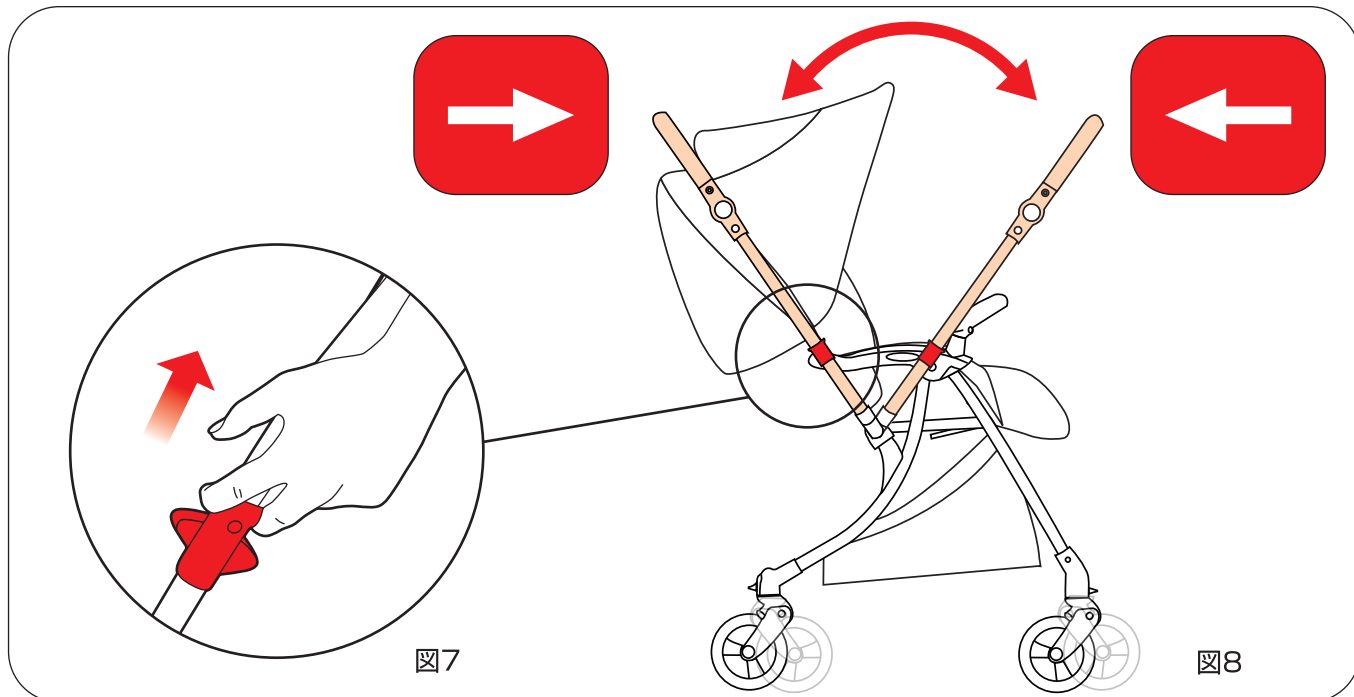


図7

図8

- ハンドルの根元の左右にある「ハンドルロック」を図7のように左右同時に引き上げながら少し前方に移動させるとロックが解除されます。
- ハンドルを、図8のように背面式または対面式に切り換えます。必ず左右の「ハンドルロック」が、左右の「ハンドルロック受け」に「カチッ」と音がして、確実にハマったことを確認してください。

## 背面式の切り替えかた

切り替えた後  
少し進んでください

図9

正しい後輪の向き

間違った後輪の向き

前輪ロック解除フリー

4ヶ所のキャスターロックレバーがすべて解除されていることを確認する。

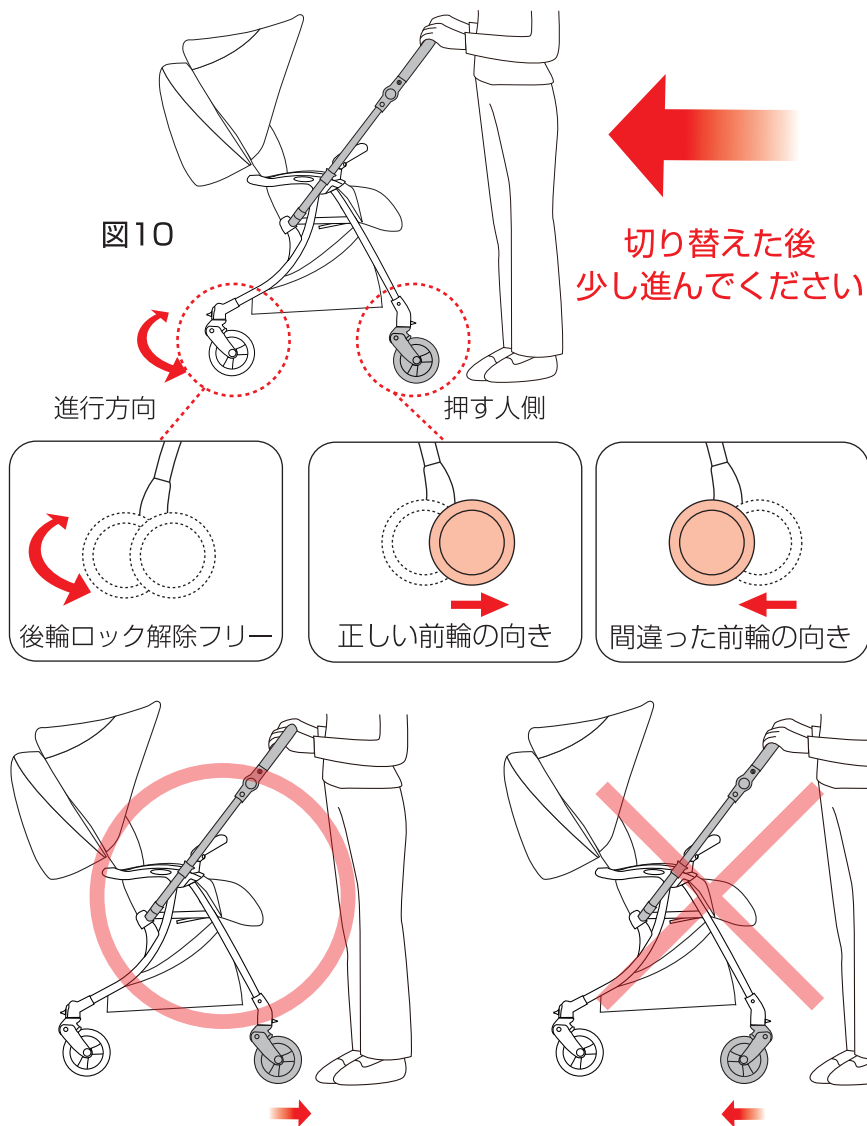
- 図9のように背面式にハンドルを切り替えることにより自動的に後輪のキャスター（押す人側の車輪）がロックされます。さらに前輪のキャスター（進行方向の車輪）がロック解除され自由に動くようになります。切り替えを行う前に必ず4ヶ所のキャスターロックレバーをすべて解除し、ハンドルの切り替えを行ってください。
- 後輪のキャスター（押す人側の車輪）が自動ロックされカチッという音がしたことを確認してください。
- 前輪のキャスター（進行方向の車輪）がロック解除されフリーになったことを確認してください。

⚠ 注意

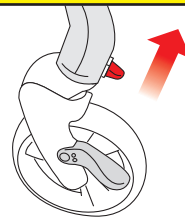
★キャスターロックレバーがロックされた状態で対面式に切り替えを行うとキャスターが間違った向きのまま走行することになり、ベビーカーに思わぬ負荷がかかります。

## 対面式の切り替えかた

図10



4ヶ所のキャスターロックレバーがすべて解除されていることを確認する。



切り替えた後  
少し進んでください

- 図10のように対面式にハンドルを切り替えることにより自動的に前輪のキャスター（押す人側の車輪）がロックされます。さらに後輪のキャスター（進行方向の車輪）が動くようになります。切り替えを行う前に必ず4ヶ所のキャスターロックレバーをすべて解除し、ハンドルの切り替えを行ってください。
- 前輪のキャスター（押す人側の車輪）が自動ロックされカチッという音がしたことを確認してください。
- 後輪のキャスター（進行方向の車輪）がロック解除されフリーになったことを確認してください。

### 注意

★キャスターロックレバーがロックされた状態で対面式に切り替えを行うとキャスターが間違った向きのまま走行することになり、ベビーカーに思わぬ負荷がかかります。

### 警告

- ★走行中は絶対にハンドル切り換えを行わないでください。
- ★お子様をベビーカーに乗せたままでハンドル切り換えを行なう場合は、必ずお子様の指や手がフレーム可動部に触れていないことを確認したうえで、慎重におこなってください。
- ★ハンドルを切り替える時は4ヶ所ともキャスターのロックを解除してください。
- ★ロックをしたままハンドルを切り替えると間違った車輪の向きになり、押しづらだけでなくベビーカーに思わぬ負荷がかかり破損するおそれがあります。
- ★坂道や凸凹のある路面では、一時的に進行方向側のキャスターを左右ともロックすると押しやすくなりますが、通常使用時やハンドルを切り替える時には、必ず4ヶ所のキャスターロックレバーを上げてロックを解除してください。

## 7 シートベルトの取扱い

### シートベルト装着

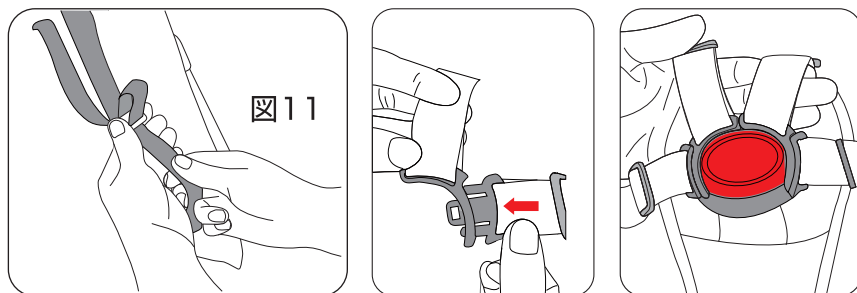


図11

- 「シートベルト」は、5ヶ所で締めます。
- お子様の成長に応じて、図11のように「腰ベルト」・「肩ベルト」は長さを調整して下さい。さらに「肩ベルト」は、ベルト位置を「肩ベルト下段穴」と「肩ベルト上段穴」の2段階に差し換えて調整できます。（P.13 ベルト位置2段階の調節を参照）
- 「シートベルト」を装着する際は、必ず先に「肩ベルト」を「腰ベルト」に差し込んでください。
- 「腰ベルト」を「バックル」に装着する場合は、「カチッ」と音がして確実にハマっていることを必ず確認してください。

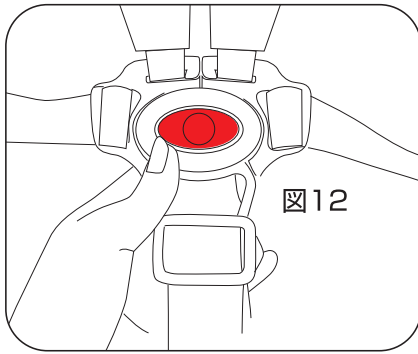
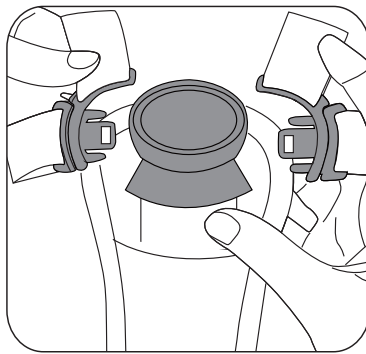


図12



### シートベルトを外す

- 「シートベルト」を外すには「バックル」の中央部にある図12の「解除ボタン」を押しながら、左右の「腰ベルト」を外します。

#### 警告

- ★安全のため、お子様を乗せている時は必ず「シートベルト」を装着してください。
- ★「シートベルト」は、必ずお子様に合ったサイズに調整してからご使用ください。サイズが合っていないと、お子様がベルトの隙間からずり落ちたり、落下して怪我をする恐れがあります。

## 8 リクライニング調整

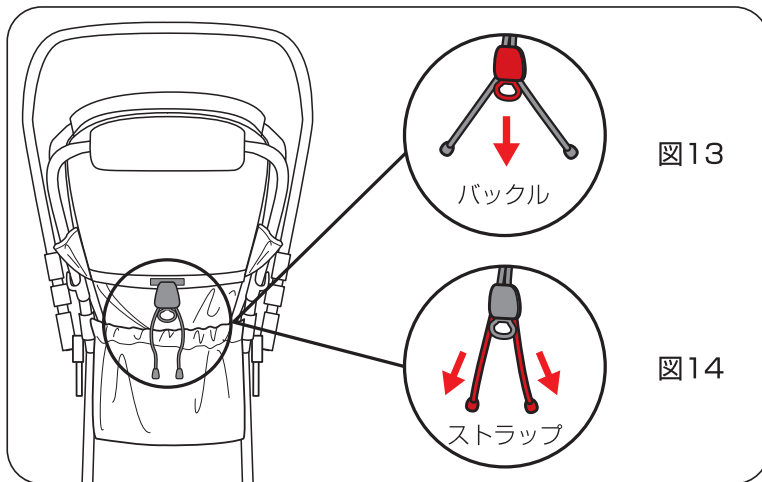


図13

図14

- 背もたれの裏側にある「リクライニングバックル」を、図13のように引き下げ背もたれを手で押すとリクライニングできます。
- リクライニングの角度は図14のように左右のストラップを左右に引っ張ることで調節できます。

#### 警告

- ★お子様をベビーカーに乗せたままで、背もたれの角度調節を行わないでください。
- ★背もたれを平らな状態にした場合、背もたれ部分にお子様や荷物を乗せないでください。ベビーカーがバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

## 9 フロントガードの着脱

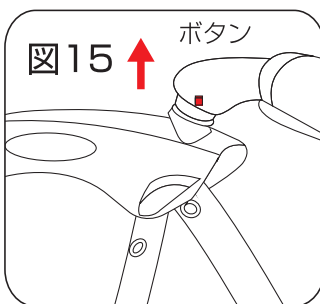


図15

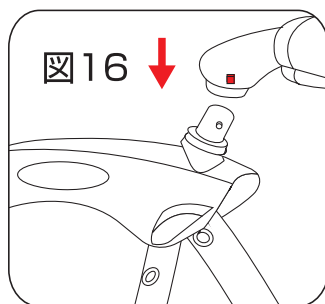


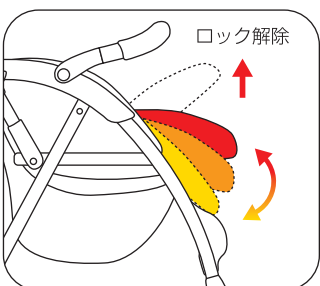
図16

- 「フロントガード」を取り外す場合は、図15のように「フロントガード」の付根にあるボタンを押しながら、フロントガードを上へ引き上げると外れます。
- 取り付ける場合は、必ず取り付け口に「カチッ」と音がするまで完全に差し込んでください。

#### 警告

- ★お子様をベビーカーに乗せたままで、「フロントガード」を持ってベビーカーを持ち上げないでください。「フロントガード」が破損するだけでなく、ベビーカーの落下・転倒によりお子様が怪我をする恐れがあります。

## 10 フットレスト リクライニング

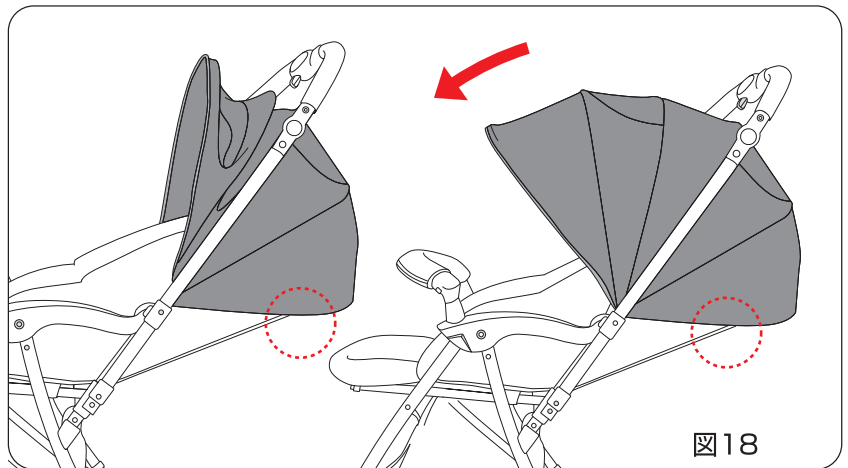
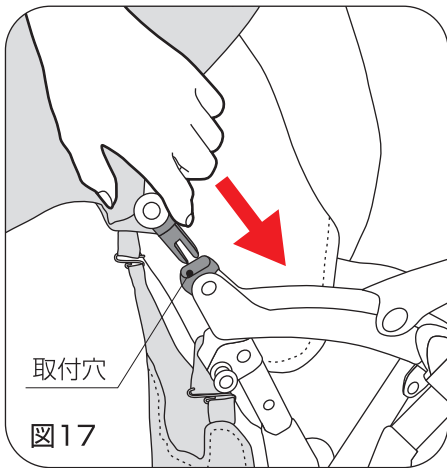


- フットレストを一番上まであげるとロックが解除され、フットレストが一番下まで下がります。角度は3段階に調節できます。
- カチッという音とともに、ポジションがしっかりとロックされたことを確認して下さい。

#### 警告

- ★フットレスト部分に、お子様を立たせたり、座らせたりしないでください。破損や転倒事故につながるだけでなく、お子様が怪我をする恐れがあります。

## 11 日よけの着脱

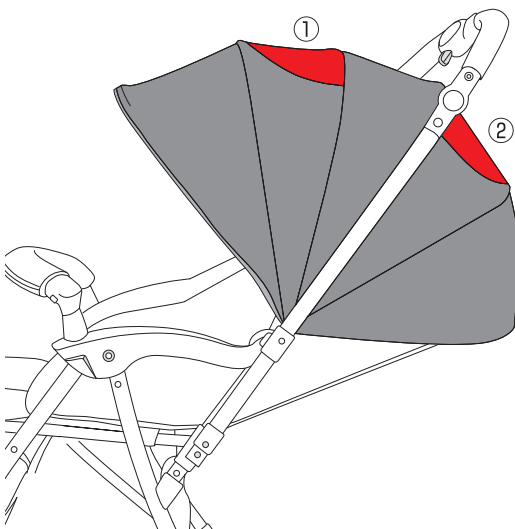


- 日よけをベビーカーに取り付けるには、図17のように左右のアームレスト後端にある「日よけ取り付け穴」に、日よけの先を押し込みます。
- さらに、日よけの裏側にある面ファスナーを背もたれの裏側(赤丸部分)に固定します。日差しが気になるときは広げてお使いください。(図18参照)
- 日よけを取り外すには、必ず日よけを折りたたんでください。日よけ差込先、裏側にあるロック解除を押さえながら上方向へ引き抜いてください。

### 警告

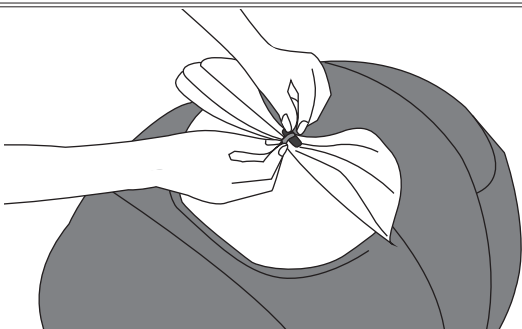
- ★「日よけレバー」をセットしたり、解除する際に、指等を挟まないよう十分注意してください。
- ★日よけを開いたまま、ベビーカーを高温になる場所に放置しないでください。熱で変形する恐れがあります。やむなく一時的に置く場合は、日よけを取り外してください。

窓カバーを開けると、お子さまのようすを見ることができます。



- 日よけには2つの窓がついてます。お子さまのようすを背面時も対面時にものぞくことができます。

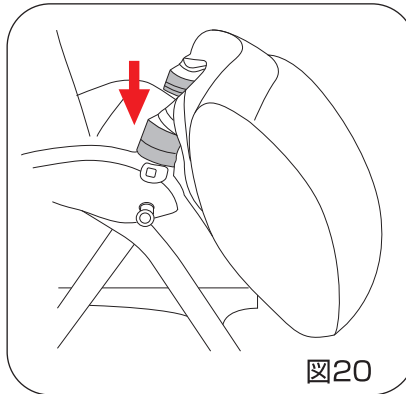
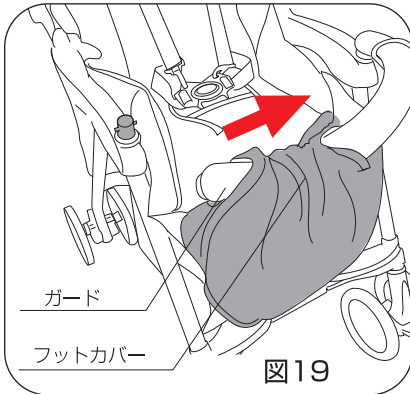
日よけについているのぞき窓のアレンジ方法!



- 窓の布を折り曲げて留めるとリボン風のアレンジができます。

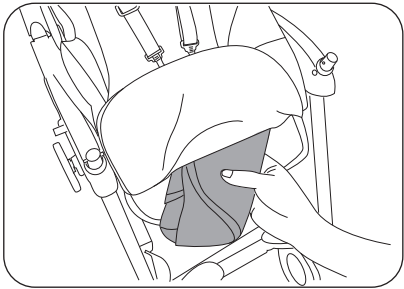


## 12 フットカバーの使い方



- 座面の裏に収納してあるフットカバーを取り出してください。フロントガードの片側を取り外して図19のようにフットカバーを通します。
- フロントガードを図20のように取り付けます。

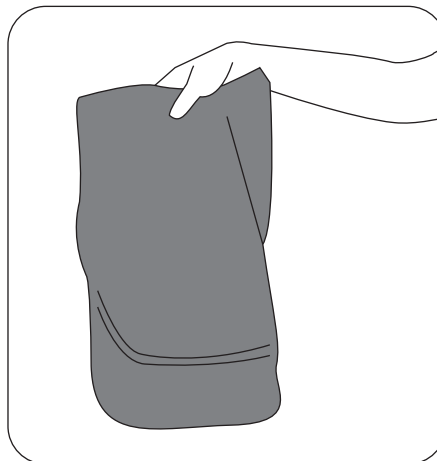
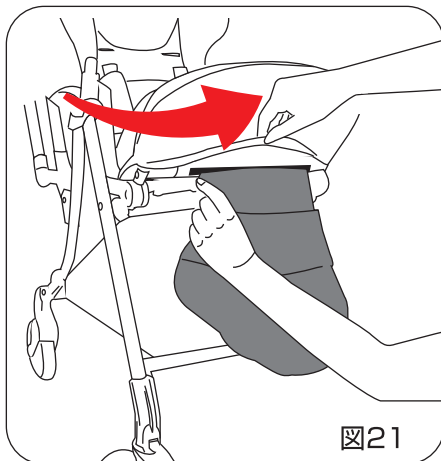
## 13 フットカバーの収納と取り外し方



- 小さくおたたんで座面下に収納します。フットカバーが飛び出さないように面ファスナーで固定してください。

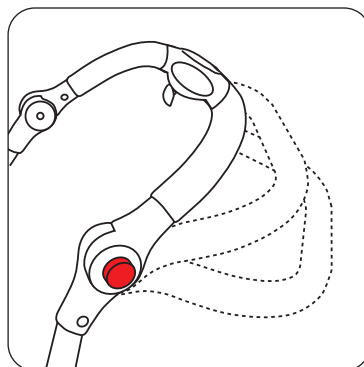
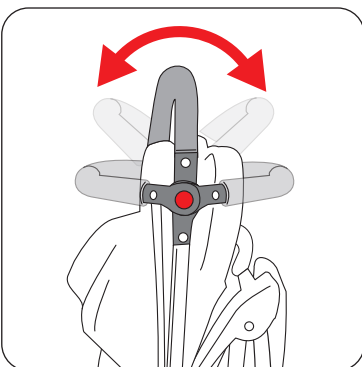
### ⚠ 注意

★靴を履いた状態でフットカバーを使用すると、汚れの原因になります。



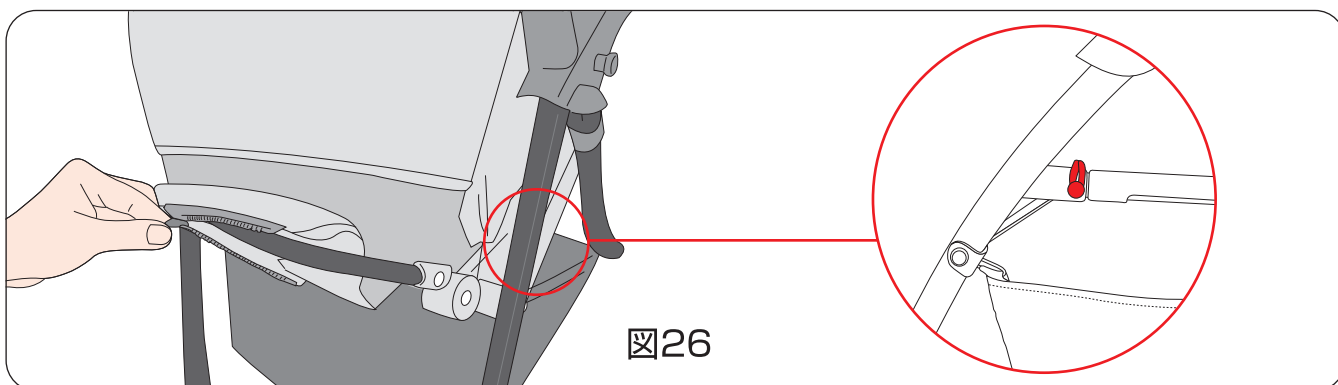
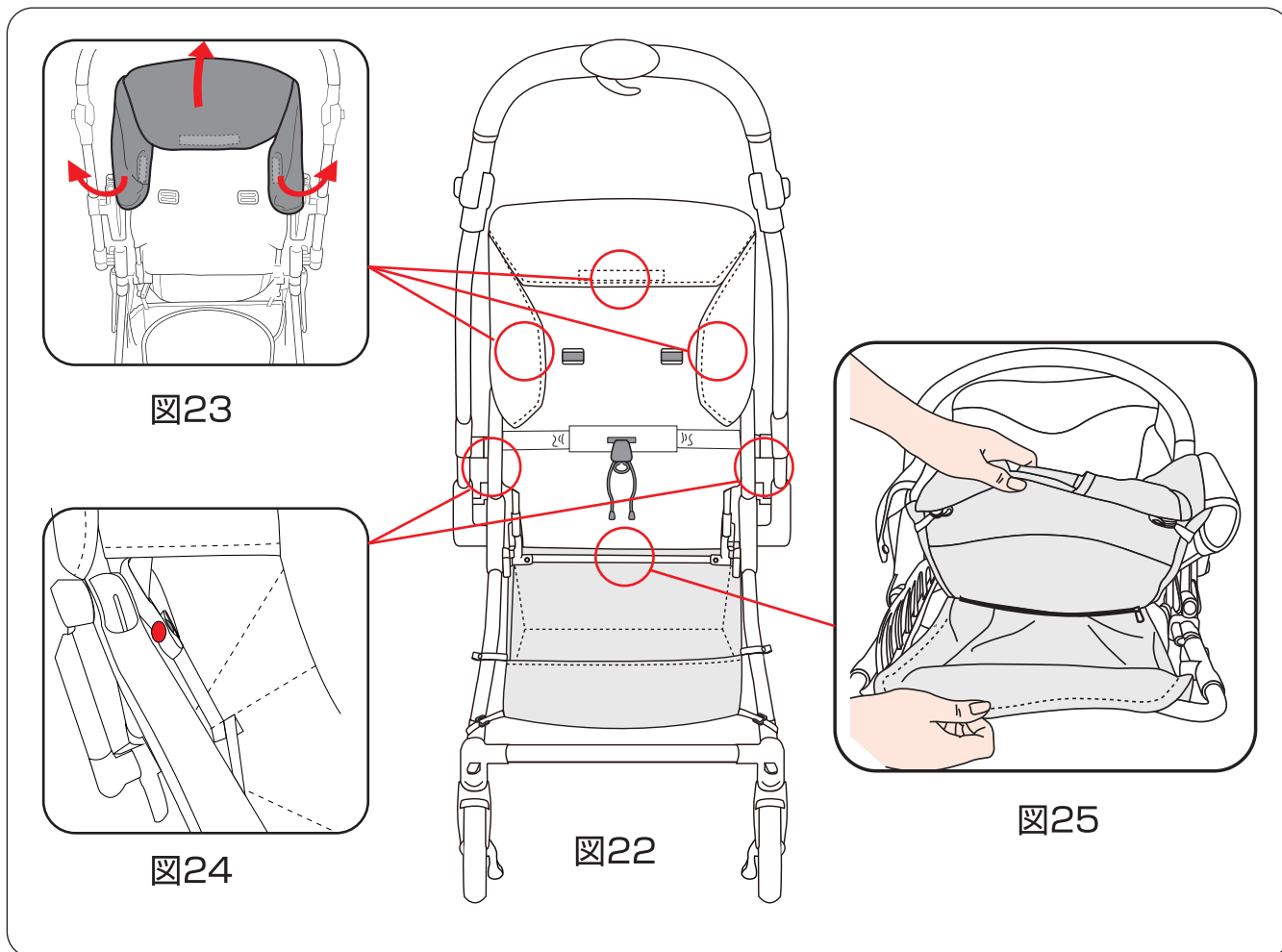
- 汚れた場合はフットカバーを取り外して手洗いをすることができます。(図21参照) 座面裏に面ファスナーで固定されたフットカバーを取り外してください。
- 手洗ったフットカバーは元の位置に取り付けて収納してください。この時にしっかりと面ファスナーで固定してください。

## 14 ハンドルの角度調整



- ハンドルの左右にある「角度調整ボタン」を左右同時に押しながら、ハンドルが真直ぐ一直線になる角度まで移動させて「角度調整ボタン」から手を離します。必ず、カチッという音がしてロックがかかるまでハンドルの角度を微調整してください。ハンドルは約180°の10段階調整ができるのでご使用時にはベストポジションに設定しなおしてください。

## 15 シートカバー(背もたれ及び座面クッション)の着脱



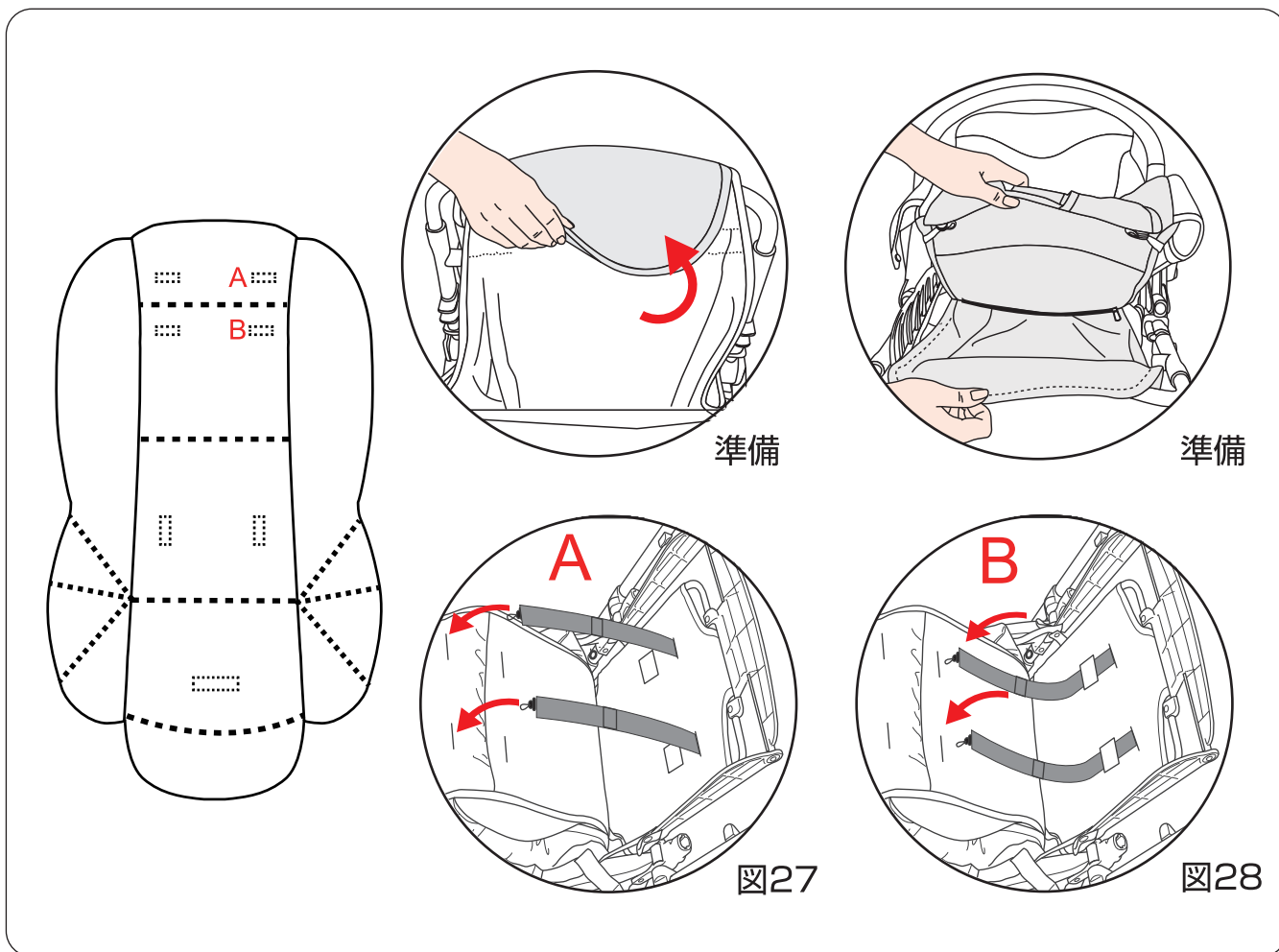
### シートカバーを取り外す

- 「シートカバー」を取り外す前準備として、「日よけ」を外し、左右の「横ベルト」と「肩ベルト」をシートベルトのバックルから外して、「シートカバー」から引き抜ける状態にしておきます。
- 「シートカバー」と「本体フレーム」は、図 22 ～ 26 のように各箇所ではックと面ファスナー等でとめてあり、取り外すことができます。
- 初めて「シートカバー」を取り外す際は、再度取り付ける場合の事を考え、必ず取り付けてあった状態や位置をよく覚えておいてください。

### シートカバーを取り付ける

- 「シートカバー」を取り付ける際は、図 22 ～ 26 ののックと面ファスナーの箇所を、必ず以前に取り付けてあった状態や位置に戻すように取り付けてください。
- 「シートカバー」は、取り付け箇所ごとに異なった方法で取り付けられています。のックは「パチッ」と音がして確実にはまっていることを、面ファスナーはオス・メスをしっかり合わせて、ファスナーはしっかりと最後までしめてください。ベルトはバックルをしっかり締めて、必ず全ての箇所を確認してください。

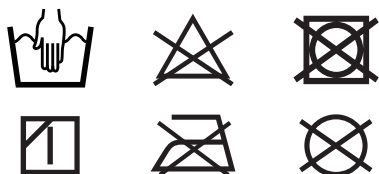
## 16 ベルト位置2段階の調節



- 準備として左右の「肩ベルト」を「腰ベルト」から外し、ベルトパッドも抜きます。背もたれクッションを剥がしてください。
- 上段に肩ベルトを差し込む場合はシートの裏側からそのまま A の穴に差し込みます。
- 再度ベルトパッドを「肩ベルト」に取り付ける前に、必ず「肩ベルト調整クリップ」でお子様に合ったサイズに調整してください。
- 下段に肩ベルトを差し込む場合はシートの裏側についている「肩ベルト通し」に「肩ベルト」を通してから B の穴に差し込みます。
- 再度ベルトパッドを「肩ベルト」に取り付ける前に、必ず「肩ベルト調整クリップ」でお子様に合ったサイズに調整してください。

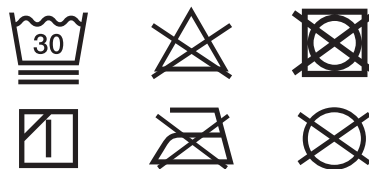
## 17 日常のお手入れ

### シートカバー・新生児インナーシートの洗淨方法



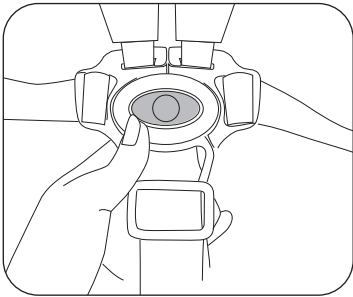
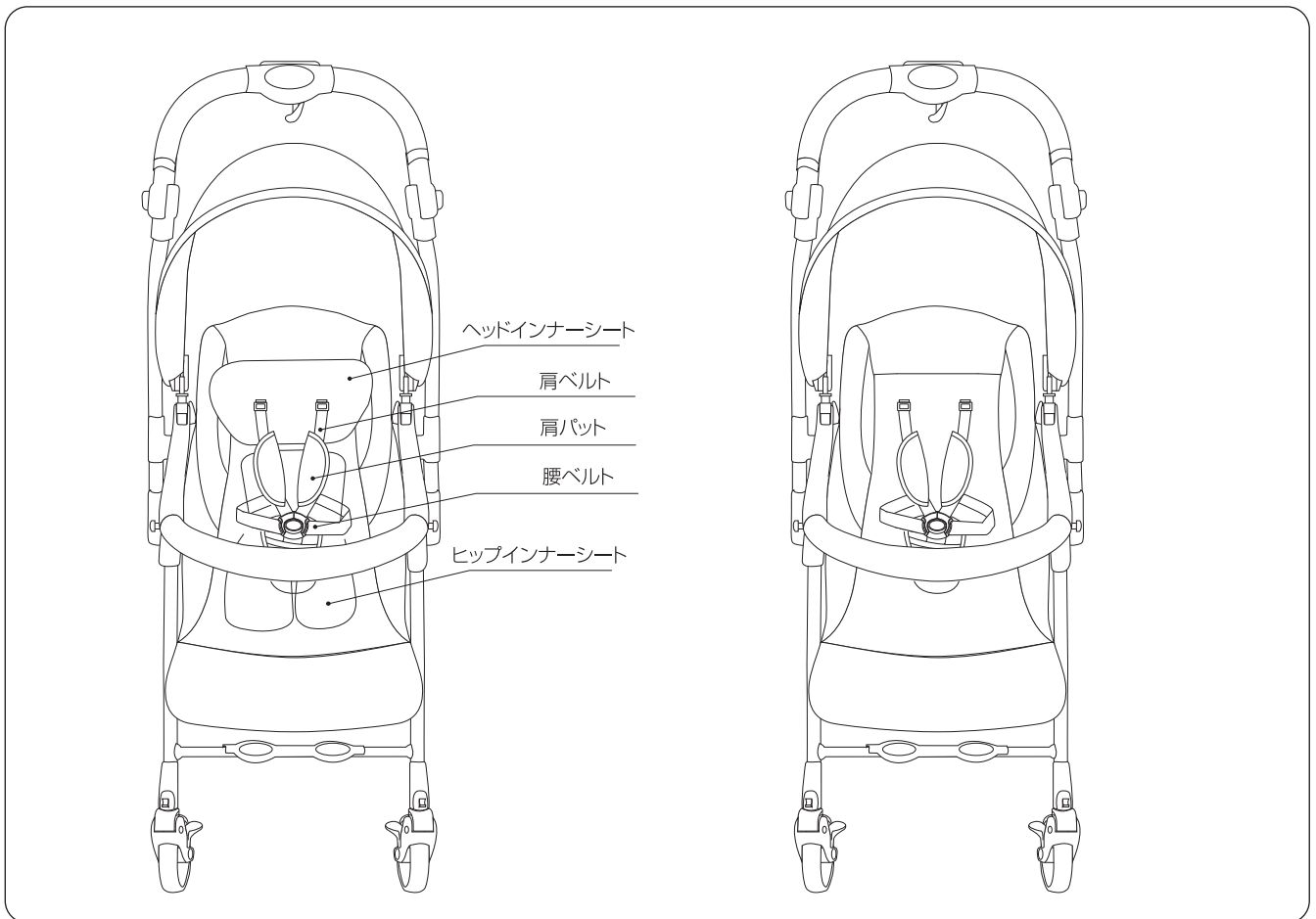
- 液温は40℃を限度とし、手洗いができます。
- 塩素系及び酵素系の漂白剤を使用した漂白はできません。
- タンブル乾燥はしないでください。
- 日影のつり干ししてください。
- アイロン仕上げは禁止です。
- ドライクリーニングは禁止です。
- 洗濯機、脱水機を使わないでください。

### フットカバーの洗淨方法



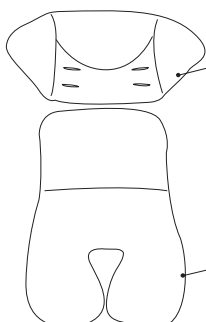
- 液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる。
- 洗濯ネットを使用してください。
- 塩素系及び酵素系の漂白剤を使用した漂白はできません。
- タンブル乾燥はしないでください。
- 日影のつり干ししてください。
- アイロン仕上げは禁止です。
- ドライクリーニングは禁止です。
- 脱水機を使わないでください。

## 18 インナーシートの着脱



- 準備として左右の「肩ベルト」を「腰ベルト」から外し、ベルトパッドも抜きます。
- 上段に肩ベルトを差し込む場合はインナーシートの上段裏側に差し込みます。
- 下段に肩ベルトを差し込む場合はインナーシートの下段裏側に差し込みます。
- 再度ベルトパッドを「肩ベルト」に取り付ける前に、必ず「肩ベルト調整クリップ」でお子様にあったサイズに調整してください。
- お子様が成長したらインナーシートを外してください。
- ヘッドインナーシートは面ファスナーで固定してあります。取り外す時はシートについている面ファスナーを取り外してください。また、取り付ける時も同様に面ファスナーで固定してください。
- インナーシートの洗浄方法はP.13を参照ください。

## 19 新生児インナーシートの使用期間



ヘッドインナーシート

首すわりの頃(月齢目安：4ヵ月頃)までは必ずお使いください。  
ベルトの位置を2段階調節できます。お子さまの成長に合わせて長くお使いいただけます。  
36ヶ月未満でもお子さまの体格によって合わなくなることがあります。その時は取り外してください。

ヒップインナーシート

1ヵ月から36ヶ月まで使用できます。  
36ヶ月未満でもお子さまの体格によっては合わなくなることがあります。その時は取り外してください。

## 車輪のお手入れ

ベビーカーは、屋外で使用するものですから、日頃のお手入れがたいせつです。特に車輪はお手入れが悪いと走行性能が著しく低下します。長く快適にご使用いただくためにも、以下のお手入れを欠かさないでください。

### ●汚れた場合

- ・車輪に付いた泥等は、布を水で濡らし、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。
- ・特に汚れがひどい場合は、水洗いをして、速やかに水分を拭き取ってください。その後、車輪と車軸の間に注油（市販の潤滑油）を必ずおこなってください。
- ・シンナー・ベンジン等の揮発性溶剤は、フレームや車輪にダメージを与えるので使用しないでください。

### ●車輪がきしんだり、よく回らない場合

- ・車輪に砂利や糸屑等の回転を妨げるものが詰まっていないか確認してください。
- ・何も詰まっていない場合は、車輪と車軸の間に注油（市販の潤滑油）をおこなってください。

### ●注油の際のご注意

- ・注油の前に、注油箇所の泥や汚れ、水分を拭き取ってください。
- ・注油量が多すぎると、油のベタつきでほこりや汚れが付きやすくなり、かえって作動性が鈍くなる原因になることがありますのでご注意ください。

### ●車輪交換

- ・車輪は消耗品です。車輪の山部分がすり減って扁平になると、走行性が悪くなったり、操作性が重く感じたりしますので交換が必要です。有料オプションで交換用車輪を用意しています。お問い合わせください。



## 保管のしかた

### ⚠ 注意

★火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因になります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、背もたれ部を下にして寝かせてください。

## 廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

この商品でお気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル



携帯・PHSOK

**0120-7-24028**

受付時間 10:00~18:00 (土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

MADE IN CHINA